

議会だより



平成 24 年度 原保育所卒園式

撮影：鵜野澤一夫 編集委員

平成 25 年 4 月
第 147 号

町のホームページで議会だよりや議会の
会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

25年度予算決まる

- 平成25年度一宮町会計別当初予算他…………… (2)
- 常任委員会審査報告…………… (3)~(4)
- 平成25年度予算討論…………… (4)~(5)
- 3月定例議会で決まったこと…………… (6)~(8)
- 一般質問7名の議員より
 - ・ 議会の主な動き… (9)~(15)
- 臨時議会・編集後記…………… (16)

3月定例議会

総額70億77万円で
平成25年度スタート



本年度修理が決定した観明寺四脚門（文化財保護事業）

平成25年第1回一宮町定例議会は、3月4日から11日までの8日間の会期で開催され、町長の施政方針をはじめ、一般質問は7名の議員がおこなわれました。

また、議案として条例の制定・一部改正など18件、町道の認定・廃止・変更、同意2件、補正予算については、一般会計他4会計が原案どおり可決しました。

なお、新年度予算5会計については、町より説明の後、各常任委員会へ付託されました。

各常任委員会では現場踏査をはじめ、担当各課から説明を受け、慎重に審査をおこないました。

その結果、各常任委員会とも「可決すべきもの」との結論に達しました。

そして、本会議でも各常任委員会の委員長報告に対し、全員賛成及び賛成多数により、5会計とも原案どおり可決されました。

各常任委員会の審議状況を要約して報告します。

平成25年度一宮町会計別当初予算一覧表

(単位：千円)

会計区分		平成25年度	平成24年度	比較	増減率
一般会計		4,367,000	3,639,000	728,000	20.0
特別会計	国民健康保険事業特別会計	1,445,047	1,428,209	16,838	1.2
	介護保険特別会計	958,986	897,852	61,134	6.8
	後期高齢者医療特別会計	117,623	130,695	▲ 13,072	▲ 10.0
	農業集落排水事業特別会計	112,114	95,976	16,138	16.8
	特別会計合計	2,633,770	2,552,732	81,038	3.2
総合計		7,000,770	6,191,732	809,038	13.1

総務 文教

委員長	高梨 邦俊
副委員長	島崎 保幸
委員	鶴岡 巖
委員	秦 重悦
委員	鶴野澤 一夫
委員	藤乘 一由

問 自主防災組織は、リーダーのなり手がいないようだが、状況は。

答 宮原地区や矢畑地区は、区長以外の方がリーダーとなっている。しかし、まずは自身の安全が優先で、その上で、地域のお年寄りなどを手助けしていただきたい。

答 25年度中に計画を策定し、26年度の部署ごとの職員配置数などを計画する際に反映させたい。

問 以前に行っていた中学生の海外ホームステイ中止の経緯と新規事業での選考方法は。

答 16年度まで町単独で実施していたが、サーズ（感染症）の影響等で中止となった。

問 職員の定員適正化計画の成果はいつ頃反映されるか。

今回は、白子町・長生村



玉前神社社殿改修状況を現場踏査

と合同で実施する。選考にあたっては参加生徒の申込書と作文の提出が条件で、定数を越えた場合は抽選とする。

問 コンビニ収納による26年度以降の経費と効果は。

答 26年度以降は、毎年1百万円程度の手数料を経費に見込んでいる。効果は24時間利用可能という納税者の利便性によるサービスの向上である。

要望事項

1. 南消防署の老朽化は著しく、町民の安全確保のためにも一日も早い整備を要望する。

2. 町・県から補助金が出ている玉前神社社殿改修工事は、事業完了が平成32年度に変更された。玉前神社は一宮町の歴史ある神社であり、町民の関心も高いことから、工事の現況・進捗状況・今後のスケジュールなどを、玉前神社から町民へ説明することを要望する。

経済

委員長	吉野 繁徳
副委員長	鶴沢 一男
委員	森 佐衛
委員	小安 博之
委員	鶴沢 清永

問 農業委員の定数15人という人数は妥当か。

答 人数は問題ないが、国・県から女性委員登用の指導がされている。

問 かずさ有機センター負担金の状況は。

答 事業収入を引いた不足分1千1百40万5千円を一宮町・睦沢町・酪農家が負担する。睦沢町の堆肥を使った有機農業が特認事業

として認められ、負担額は減少した。牛の糞尿処理は地域住民の環境の面も重視した負担である。

問 商店街活性化に向けて、予算は反映されているのか。

答 地域振興券を工夫して商店街の活性化を図ることを検討している。方向性を出し、12月の歳末に向けて考えたい。

問 農業集落排水事業では施設修繕等の費用は国庫予算で全部まかなえるのか。

答 補助金1千1百万円は、集落排水施設の機能診断業務の委託費であり、機能診断等調査結果から修繕の優先順位をつける。老朽化して方式の転換が経費的に有利な場合は新事業も検討の必要がある。

問 交通安全対策特別交付金とは。

答 町内の交通事故発生件数・人口・道路延長などを勘案し、配分される交付金で、交通安全対策事業の交通安全施設整備に充てている。

要望事項

1. 平成25年1月に一宮町有害鳥獣対策協議会が設立されたが、今後の活動内容とその効果についての報告を要望する。

2. 産業観光課への1人増員は認められたが、事業遂行にあたり業務でなく商工観光グループとしての職員の体制を要望する。



市民農園用地を現場踏査
(7区-1 県営住宅脇)

厚生

委員長	中村新一郎
副委員長	志田 延子
委員	畑場 博敏
委員	室川 常夫
委員	袴田 忍

平成25年度予算私はこう考える

賛成討論

鶴野澤 一夫議員

入所児童数の変動には、保育士の募集と、子どもたちに負担がかからない保育により対応し、保護者への説明も行っている。

問 介護保険料滞納状況は。

答 24年度現年分で27人54万3千9百50円、滞納分で50人3百11万50円、合計で77人3百65万4千円である。

問 第5期の介護計画では、町内の特養等の設置計画はないが、その理由は。

答 近隣市町村では5期計画で施設建設の予定もあり、特養待機者には重複申請をしていること、介護度の低い人も申請していること、保険料への影響により町内施設建設は必要でない」と判断した。

問 まごころの見守り訪問事業の実施状況は。

答 平成25年度は、町の単独事業で2名での体制となり、申込制で行う。地域支援ネットワーク事業の一環で訪問し、情報共有のため交代制で実施する。



保育事業を現場踏査（原保育所）

問 後期高齢者の基本健康診査の受診率は。

答 23年度の一宮町は21・6%、千葉県全体では29・27%の受診率で、受診率向上のため対象者全員に健診通知を発送し、広報紙、防災無線等で啓発している。

問 地域子育て支援拠点事業の利用者は。

答 23年度の実績では一日15人程度である。

問 保育所入所児童の定員オーバーへの対応はどうか。

答 遊戯室を保育室として利用することにより国の面積基準を満たしている。

一般会計

反対討論

畑場 博敏議員

予算審議する上での留意点として町民生活が今後どうなるか、町政はどう町民生活を守るかの観点が大切だ。

平成26年4月より消費税増税が始まる。「税と社会保障一体改革」の名のもとに行なわれる年金支給額の引き下げや支給年齢引き上げ等々、消費税導入は社会保障のためといながらもニューは社会保障切り捨てのオンパレードである。TPP参加も地域農業や経済に大きな影響をおよぼすことは明らかである。

このようななかでの新年度予算であり、庁舎建設に6億1千万円、新にここに

予算については、5会計のうち一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計の4会計で次のとおり反対討論、賛成討論がありました。

サービスや高齢者世帯を見廻る「まごころの見守り訪問事業」、高校1年生まで拡大する医療費助成事業等は子育てや福祉向上からも積極予算として評価できる。

しかし生活応援予算として、高すぎる国保税2万円引き下げのためには一般会計から繰り出してでも減税すべきである。県の水道料の倍以上高い水道料金の引き下げは基本料金水量を現在の16㎡から10㎡に引き下げることで一戸1千200円安くできる。実施すべきである。ゴミ袋代値下げも1枚10円の値下げは24年度広域組合への負担額以内で実施できるとのことであり実施すべきだ。子どもの医療費助成での一部負担金300円は55万円予算化すればなくせるので改善を求める。

生活応援の予算化はどれも少額で実施できるものである。

現在の町の財政調整基金は10億円もあり、貯めるだけでなく有効に使うことも大切だ。改善を求め反対する。

限られた財源の中、多くの課題に配慮した予算案であるため賛成する。

国民健康保険特別会計

反対討論

鶴岡 巖議員

国民健康保険加入世帯は前年より増加し、2347世帯となっている。保険税軽減世帯も1083世帯で、低所得者世帯が約半数を占めている。

また、所得2百万円以下の世帯が全体の77%で、所得2百万円世帯での保険税額は所得の17%を保険税が占めており、低所得者に厳しい保険税の構造である。保険料低減への住民の切実な声に応えるには、

- ①国民健康保険税の負担は応能負担の原則に立つこと。
 - ②国民健康保険法44条に基づき医療費一部負担金の免除申請制度の活用ができるようにすること。
 - ③国への国庫負担増をさらに求めること等である。そして、国民健康保険事業の県単位の広域化はやめ、財政運用の都道府県化を元に戻すこと。
- 以上を国へ要求し、当面1世帯当たり2万円の減税を実施することを強く求め反対する。

介護保険特別会計

反対討論

鶴岡 巖議員

本予算では、高齢化社会に備えた介護予防教室や介護度重度化ボランティアの育成、紙おむつ支給事業の拡大は評価できる。

しかし、町の介護保険事業計画では、特別養護老人ホーム待機者の深刻な実態に対応するホーム設置の計画がない。

住民税非課税の人や、介護保険料が普通徴収となる高齢者等への配慮として、自治体独自の保険料や利用料の減免制度の拡充も合わせて行うべきである。

国の財源による介護職員の抜本的な処遇改善や公費負担割合を引き上げるように国に対する要求をさらに強めることも求められる。

また、要介護認定者への控除申請へのPRや適切なアドバイスなど、きめ細かな取り組みが求められる。高齢化がすすむなかで、「高齢者を社会全体で支える」という介護保険制度、本来の目的を果たすよう一層の努力を求め反対する。

賛成討論

袴田 忍議員

介護保険の被保険者数は、平成25年度にピークを迎え、認知症の方や介護期間の長期化、介護する家族の高齢化など、家族による介護の対応が徐々に困難となると考えられる。

本年度の介護保険予算は、介護を必要とする人のために必要な介護サービスを総合的に提供する介護保険給付事業と、高齢者がいきいきと暮らして行くための介護予防事業が計上されている。

特に介護予防事業は、県の10割補助の介護度重度化防止事業や、40歳から参加できる健康運動教室の開催など介護予防に重点をおいた事業が実施される。

また、低所得者対策として、紙おむつの給付事業も始まる。

以上のような積極的な介護予防事業が計画されていることから、適切な予算であるものと判断し本予算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

鶴岡 巖議員

本制度は、75才以上の人を国民健康保険やその他の健康保険から切り離し、高齢者だけの保険としたために、保険料は高齢者人口の増加とそれを支える医療費の増加という2つの要因から保険料は限りなく上がる仕組みとなっている。

また、この制度は、千葉県後期高齢者医療広域連合として千葉県全体を一つの機関で運営するため、地域に大病院のある都市部と無医村に近い農村部との格差や事務費の町村負担金の割合など不公平感や問題点を是正できないまま今日を迎えている。

町は、保険料の徴収事務が主な仕事だけに、住民からの様々な声が上がっても、なかなか広域連合に反映できない制度となっている。

こうした後期高齢者医療制度は廃止し、高齢者に優しい医療のできる老人医療制度に戻すことを国に強く要求することを求め、本予算に反対する。

賛成討論

室川 常夫議員

後期高齢者医療制度は、「超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現」を実施するため平成20年度より施行され、被保険者に制度の理解が得られてきたところであるが、高齢者の医療を国民全体で支えていくということで、現役世代と高齢者が共に医療を支え合い医療を保障していく制度である。

現在、基本健診の質の向上や人間ドックの助成もされ、順調に運営されている。

しかし、75歳で制度が区分されること等に対する国民の十分な理解が得られなかったことなど様々な問題を抱えるなか、国では新たな高齢者医療制度についての検討が行なわれている。

本会計は、法律に基づき町が行うべき業務に関連した予算を経理するための特別会計であり、被保険者の健康を守り、安心して医療が受けられるよう計上されている。よって本案に賛成する。

予

算

討

論

条例制定・改正

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定

「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」に基づき、町の職員を他の団体に派遣することについて必要な事項を定めるものです。

主な内容は、職員を派遣する団体、派遣の対象から除かれる職員（臨時職員等）及び派遣先と合意しておくべき事項のほか、給与等の支給や派遣職員の復帰した際の取り扱いなどを定めるものです。

なお、規則で定める派遣団体は「社会福祉法人 一宮町社会福祉協議会」です。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

職員の年次休暇について改正するもので、現行は1月から12月までの暦年であるが、職員採用・退職及び人事異動の周期である4月から3月までの年度による運用に改めるものです。

一般職員の給与に関する条例及び旅費に関する条例の一部改正

東日本大震災の被災地に職員を派遣することに伴い、単身赴任手当等の規定を整備するものです。

また、武力攻撃事態等における派遣手当や新型インフルエンザ等対策における派遣手当の規定もあわせて整備するものです。

旅費に関する条例の一部改正は、災害等の被災地に職員を派遣した場合の着後手当を追加するものです。

町長等の給料の特例に関する条例の一部改正

町長・副町長・教育長の給料の減額期間を平成26年3月31日まで延長するものです。

減額率	町長	20/100
	副町長	20/100
	教育長	5/100

防災会議条例の一部改正

防災会議の所掌事務に、町長の諮問に応じて防災に関する重要事項を審議することができるよう改めました。

また、多様な主体の意見を反映できるように防災会議の委員として、自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者を追加しました。

情報公開条例の一部改正

「国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律」が改正されたことに伴い、国有林野事業が国営企業でなくなるため、国が経営する企業に係る規定を条例から削除し、語句等を整備するものです。

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法が平成24年5月11日に公布されたことに伴い、同法第37条において準用する同法26条の規定に基づき、新型インフルエンザ等対策本部に関し必要な事項を定めるものです。

介護保険運営協議会設置条例の制定

町の附属機関とするため、地方自治法の規定で条例を制定するものです。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定

地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）に伴い、介護保険法の一部が改正され、これまで厚生労働省令で規定されていた基準を、町の条例で制定するものです。

なお、この条例は、要介護認定者の利用を対象とするものです。

※「地域密着型サービス」とは

住み慣れた地域を離れずに生活できるように、地域の特性に応じた柔軟な体制で提供されるサービスです。

原則的に、利用者は町の住民に限定され、町が事業者の指定や監督を行います。

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定

前記条例と同様、地域主権一括法の制定に伴う介護保険法の一部改正が改正されたことにより、条例を制定するものです。

なお、この条例は、要支援認定者の利用を対象とするものです。

町営住宅等の整備基準を定める条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、「公営住宅法」が改正され、これまで国が全国一律に定めていた公営住宅等の整備基準について、条例で定めることとなったため、「町営住宅整備基準」を定めるものです。

町営住宅管理条例の一部改正

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、「公営住宅法施行令」が改正され、これまで国が全国一律に定めていた「収入の基準」について、条例で定めることとされたことに伴い、「収入の基準」を定め、併せて、町営住宅管理条例の中に、暴力団排除措置等の内容がなかったため、「入居資格要件」に「暴力団でないこと」を追加するものです。

都市下水路の構造及び維持管理の基準を定める条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定により「下水道法」が改正され、これまで下水道法施行令で規定されていた都市下水路の構造及び維持管理に関する基準を条例で定めることとされたことに伴い、「都市下水路の構造及び維持管理の基準」を定めるものです。

都市公園及び公園施設の設置基準を定める条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定により「都市公園法」が改正され、これまで国が一律に定めていた都市公園の設置基準等を条例で定めることとされたことに伴い、「都市公園法に基づく都市公園及び公園施設の設置の基準」を定めるものです。

町が管理する町道の構造の技術的基準を定める条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定により道路法の一部改正が行われ、これまで国が一律に定めていた道路構造等の技術的基準について、町の条例で定めることになったことから、「町が管理する町道の構造の技術的基準」を定めるものです。

町が管理する町道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定により道路法の一部改正が行われ、これまで国が一律に定めていた道路に設ける案内標識等の寸法について、町の条例で定めることになったことから、「町が管理する町道に設ける案内標識等の寸法」を定めるものです。

河川管理施設等の構造の基準を定める条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定により「河川法」の一部改正が行われ、これまで国が一律に定めていた河川管理施設等の構造の基準について、町の条例で定めることになったことから、「河川管理施設等の構造の基準」を定めるものです。

市民農園設置管理条例の制定

農家以外の方が野菜や花などの栽培を通して、自然に触れるとともに農業に対する理解を深めていただくために、開設を予定している市民農園について、設置管理条例を定めるものです。

認定・廃止・変更・補正・同意

町道路線の認定

宅地開発事業に伴い寄附された道路と土地改良事業で換地された認定外道路の2路線を新たに認定するものです。

町道路線の廃止

釣ヶ崎広場の完成に伴い、広場内の道路を廃止するものです。

町道路線の変更

大字東野の誕生に伴い、東浪見土地区画整理事業内で認定されている34路線の起終点の番地を変更するものです。

一般会計補正予算（第7次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億2千3百80万6千円を追加し、歳入歳出を44億8千9百43万9千円とするものです。

主な内容は、国の補正予算「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を活用した通学路（町道1・10号線）の交通安全対策事業2億8千万円や一宮小学校屋内運動場耐震改修事業1億3千2百9万円のほか、普通交付税や前年度繰越金などの精算に伴う財政調整基金積立て

1億9千2百77万2千円、保育所整備基金積立て5千万円及び公共施設整備基金積立て5千万円などです。

国民健康保険事業特別会計 補正予算（第2次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2千3百55万円を追加し、歳入歳出を14億5千8百5万7千円とするものです。

内容は、主に療養給付費等の増額により、国民健康保険基金を不足分の歳入に充当するものや、平成23年度の医療費精算に伴う国庫負担金の返還、各種納付金、拠出金の支払額の決定に係る補正をするものです。

介護保険特別会計 補正予算（第2次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千9百27万6千円を追加し、9億1千7百38万とするものです。

内容は、支出見込みによる増額補正です。

後期高齢者医療特別会計 補正予算（第2次）

歳入歳出予算の総額からそれぞれ9百3万4千円を減額し、歳入歳出を1億1千8百18万5千円とするものです。

内容は、平成24年度は2年に一度の保険料率の見直しの年であり、当初、予算編成時は現在の保険料率よりも高く設定されていたが、料率改正がなかったため、その差額分を減額するものです。

農業集落排水事業特別会計 補正予算（第3次）

歳入歳出予算の総額から48万7千円を減額し、歳入歳出を1億1百1万8千円とするものです。

内容は、分担金と前年度繰越金の精算及び管理経費の精算に伴う減額です。

同意

固定資産評価審査委員に 酒井芳人さんを再任



固定資産評価審査委員に、一宮町東浪見（17区）の酒井芳人さんが提案され、全員賛成で同意されました。任期は平成25年3月24日から3年間です。

副町長に 芝崎登さんを再任



副町長に、一宮町一宮（11区）の芝崎登さんが提案され、全員賛成で同意されました。任期は平成25年4月1日から4年間です。

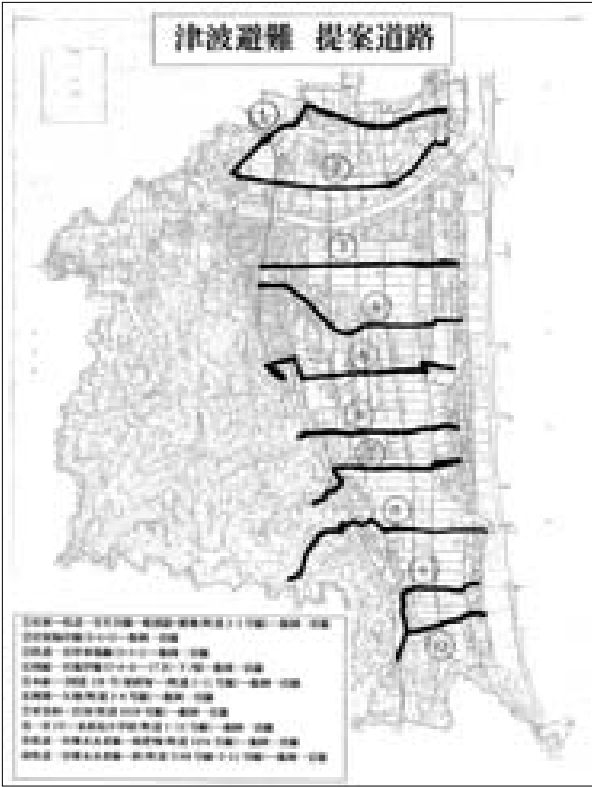
津波避難道路を

防災計画に組入れを



議員 一宮海野澤 鵜野澤

都市計画道路の県道南総一宮海岸線は、一部見直しを検討している。
①避難道路としての位置づけも考慮されているその県道の進捗状況を伺う。
②県の防災計画で津波対策の一つである、一宮海岸



津波避難道路として10路線を提案

組入れを 検討

防護施設（土塁）の高さは6.5mである。過去最大級（1677年延宝地震）での津波高さは、実績8mであった。新庁舎は、高さ10mの津波を想定し、一時避難所として対応する。
海岸線の総距離は約7.5kmと長く、左図の10路線を津波避難道路として防災計画に組み入れ、マスタープランに導入を願うが町長の見解を伺う。
小関都市環境課長 ①県道南総一宮線については、国道128号線との交差点の一部見直しがなされ、長生土木事務所から沿線住民に住民説明会を実施したところである。南総一宮線バイパスは、圏央道、長生グリーンラインとのアクセスにより災害時には避難と物資輸送路の役割をもつ重要な道路である。
事業は、早期完成を目指し、用地交渉を進めており、

一定の用地買収が終わりしだい工事着手することのことである。

峰島総務課長 ②現在町では、避難道路は特に指定していない。これは、東西の主要幹線道路が少なく避難路として指定することにより、避難者が集中し渋滞となり、二次災害に発展する恐れもあるため、毎年行っている避難訓練では、住民の皆さんが各自で複数の避難経路を考えるようお願いしている。

しかし、現在見直しを進めている地域防災計画のなかで、提案の路線についても検討していく。

保育所を 統合一 民営化に

防災対策の面で考えると、現在の一宮保育所（海拔3.1m）だが、建物の老朽化、駐車場の不備、河川の土手下にあるため、6m以上の津波が来ると河川から溢れることが予想され、高台への移設が必要不可欠である。

また原保育所（海拔2.4m）東浪見保育所（海拔8.1m）



高台への移設が検討される一宮保育所

についても、高台移設が望まれる。以上から3保育所を統合すること。

また資金、予算面、その後の経費等を考慮すると、宮原の愛光保育園同様に民営化（福祉法人）にしたほうが、町予算の軽減（町負担は14）につながると思う。町長の見解を伺う。

検討委員会 を設置

玉川町長 一宮保育所の移転については、昨年実施したアンケート調査で81%と圧倒的多数の意見があり、町は平成27年度をめどに移設を推進する。
しかし、3保育所の統合

は、児童数が300人を超えるマンモス保育所となり弊害もある。
保育所建設の際は、民営化も、一つの選択肢として考えている。

小泉改革により、公立保育施設の建て替等は、国や県の補助を受けることができなくなったが、民間保育施設であれば、補助制度を利用できる。

国の制度変更に伴い、多くの市町村でも保育所の民営化を推進している。
今後、平成24年8月に「子ども・子育て関連三法」が制定されたことに基づき、町では子ども・子育て支援を総合的に推進する検討委員会を設置し、そのなかで

保育関係も検討する。

一宮海岸広場を

多目的広場に



志田延子議員

一宮海岸広場（国民宿舎跡地）は一昨年整備され、駐車場、トイレもできたが、まだ有効利用はされていない。



一昨年整備された一宮海岸広場

そこで、現在の広場に芝を張り、多目的広場にする

芝生の多目的 広場で計画

玉川町長 一宮海岸広場の利用については昨年夏に検討会を開き、海岸区やつくも会、サーファーや若手農家、子育て世代等から沢山の意見が寄せられた。

その結果、子どもからお年寄りまで自由に使える広場が欲しいという意見が最も多かったことを尊重して、芝生の多目的広場を整備する予定である。

グラウンドゴルフは健康や仲間作りにも良いので、体育協会やつくも会と協議していきたい。

食材は 地元から

給食の食材だが、学校、保育所共に、野菜、魚、肉の生鮮食品については町の商店より仕入れているが、一部の食材については、町外から仕入れている。

自校給食方式をこのまま生かし、地産地消を合言葉

に、なるべく地元から仕入れられることはできないのかという。

地元調達に 努力

町田教育長 小・中学校の給食食材は、保護者から預かった給食費で調達しております。現在、野菜・肉類・豆腐類・調味料など町の商店から仕入れられるものは極力調達するように、各学校に指導している。

今後、地産地消を更に推進するために、地元商店およびJA長生等と連携した供給体制等について、各学校に協議検討を指示する。

井上保育所長 保育所では、生鮮食品・乳製品・パン・乾物等を町の商店より仕入れているが、一部の食材は、町外から仕入れている。

今後、限られた食材費で、栄養や安全・衛生面に配慮し、できる限り地元から仕入れ提供していきたい。

消防団員の 夏服は

課題として 消防本部へ



消防団員の訓練

消防団は、町民の安全を守るため、日夜献身的に活動している重要な団体であるが、最近の夏は猛暑で、消防団も夏服と冬服の2種類が必要との声がある。

峰島総務課長 消防団の事務は、昭和49年から長生郡市広域市町村圏組合の消防本部において行っている。

消防団員へは、従来冬用活動服のみの貸与であったが、東日本大震災以降、消防団員の安全装備の充実強化を図っている。

今後、消防本部では、市町村と協議しながら消防団の処遇改善と併せて施設、装備についても計画的に整備し、充実強化に努めたいとのことである。

自立支援協議会の

取組みは

就労促進の

支援



袴田 忍議員

自立支援協議会の設置で障害者福祉サービスも町から管内（郡内市町村）に拡大され支援内容も充実し

- ①協議会の全体会、幹事会の会議日数とその内容
- ②ネットワークの構築
- ③障害者への就労促進

た。一宮町も支援体制の整備と各種サービスの対策を図っているところだが、町の取組みについて以下の点を伺う。

協議会の全体会、幹事会

の会議日数とその内容

ネットワークの構築

障害者への就労促進

中山福祉健康課長 長生郡

市自立支援協議会は、平成

18年に地域の障がい福祉関

係者による連携及び支援の

体制に関する協議を行うた

め、長生郡市で設置した。

全体会では、年間事業、

第3期障がい福祉計画案

（平成24～26年度）につい

て協議され、幹事会では、

実務担当者で組織し、全体

会、学習会、各部会等（相

談支援担当者会議、療育作

業部会、就労作業部会）の

提案内容の協議を行った。

町では自立支援協議会、

各部会等で構築されたネッ

トワークを活用して、個別

相談や個別支援会議等にお

いて常に連絡調整を図って

いる。

障がい者への就労促進に

ついては、障害福祉サー

ビス事業の訓練等給付事

業（就労移行支援2件、就

労継続支援B型10件）によ

り自立に向けて支援してい

る。

一宮川堤防の利用は

健康ブームや体力向上を

目指し、朝夕問わず中高年

者が町内いたるところで

ウォーキングをしている。

町民に障害物のない安全

で安心なウォーキング道路

として、堤防（海岸河口、

宮原）の利用を望みたい。

また、堤防の美化運動を

取入れた対策を求める。

堤防の舗装延長を要望

玉川町長 近年、ウォーキ

ングは広い世代で人気であ

り、堤防を歩く人は増えて

いる。昨年、船頭給側の新

生橋から中之橋までの堤防

が舗装され最適な環境が出

来があった。

今後は、さらに、ウォー

キングの目安となる距離表

示や、環境美化の観点から

の犬の糞の持ち帰り、ゴミ

のポイ捨て禁止看板の設置

など県と協議しながら環境整備に努めていく。
また、今後は中之橋から下流についても舗装を県に要望していく。



新生橋付近の堤防

らくちんだし、しばらく車いすを使ってみましょう。



どうなる都市計画



小安博之議員

昨年3月議会での町長の施政方針のなかで、「都市計画決定後の約40年の間、その整備はほとんど進んでいない状況にあり、その後

の社会経済情勢の変化により、計画そのものを根本から見直す必要性が高まっている。新年度から都市計画見直しに必要な庁内体制を整え、その必要性、優位性及び実現性を再検証するなど、都市計画の見直しを行っていく。」と述べた。

- ① 都市計画道路における制限
- ② 現在の見直しの進捗状況
- ③ 見直しに係る手続き及び期間
- ④ まちづくりの方針

マスタープラン策定
後見直しへ

玉川町長 都市計画道路の区域として決定された土地では、移転や除却の難しい建築物は、建築制限を受け



昭和46年に決定した都市計画

る。

都市計画の見直しは、基本方針となる都市計画マスタープランの策定を発注しており、現状と課題の整理を行っている。

マスタープラン策定後に具体的な見直しを行う予定で、期間は5、6年を見込んでいます。

今回の見直しでは、社会情勢の変化に対応するため、町民の意見を取入れ、実効性のあるまちづくりを進める。

下ノ原通りの整備は

平成23年12月議会で質問した下ノ原通り（1―10号線）の整備について、町長より「交通安全対策事業として、国庫補助事業の導入を図り整備していく。」との答弁を得た。

当該道路の整備について現在の状況及び予定を伺う。



国庫補助事業が決定（下ノ原通り）

平成25年度
全線整備

小関都市環境課長 町道1―10号線（下ノ原通り）の歩道整備については、平成23年12月議会で町道1―7号線の道路改良事業が軌道に乗った段階で国庫補助事業を導入し整備して行くこと答弁した。

しかし、今般、国の大型補正予算が計上され、通学路の安全対策が国庫補助の対象になったことから、町の単独費が事業費総額の約9%で整備することが可能になった。

1―10号線は通学路に指定されており、町としては、この機会をとらえ、平成25年度中に全線にわたって整備を行うこととし、補正予算にも計上している。

スポーツ施設利用 その後の検討は



鶴岡 巖議員

町内の旅館・ホテル等から、町内にあるスポーツ施設(野球場、テニスコート、GSSセンター)等を利用した宿泊者の申込みがあるが、「利用申込みは1ヶ月前となつているため、宿泊

予約客が取れない。施設利用の申込みを2ヶ月前に改善できないのか」との要望があり、商工会からも改善策を求められていた。

「今年の6月議会で町は、今年度の利用状況を見た中で、より良い申込み方法について、さらに検討したい。」と答弁した。その後の検討結果を伺う。

町内の申込 2ヶ月前に 改善

町田教育長 スポーツ施設

を利用する町民及び町内宿泊業者が予約を取りやすくするため、この4月から町民及び町内宿泊業者に限

り、2ヶ月前から申込みができるよう改正した。GSSセンターについては、一般住民や町内宿泊業者利用の妨げにならないよう、半面ずつに分けあつて使用するなど、利用方法を学校側に指導していく。

また、GSSセンターの目的の一つとして商工観光等産業の振興がある。そのため、町の活性化となるイベント等実効性のある取組みについては優先して3ヶ月前から受付けている。

職員の給与 削減

政府は「復興財源確保」の名目で今年度から2年間にわたり国家公務員に7.8%の給与削減を実施した。そして、地方公務員へも7月

から来年3月までの9ヶ月間の給与削減を自治体へ「要請」している。

こうした、防災・減災事業の財源を「公務員の人件費を削って賄え」という政府のやり方に対し、全国知事会や市町村会等からも反発が出ている。

一方、こうした地方の声に応え、国家公務員の7.8%給与削減後の水準を下回る自治体には給与削減を求めないことや、過去の行財政改革の実績に応じて「地域の元気づくり推進費」を算定し交付するなどの配慮を示している。

町は、長い間、職員給与が県下で一番低い状態であること等を考慮し、給与の削減をしないことを求めるが見解を伺う。

近隣の状況 を考慮し 検討

峰島総務課長 今回の給与

削減は国家公務員の7.8%削減措置後の給料と比較し超える部分が削減対象であり、一宮町の場合は1.7%が削減額となる。地方交付税の配分では地



役場の業務風景

方公務員も国に準じた給与削減が実施されることを前提として算定している。国の要請に基づく給与削減を「行っても、行わなくても」職員給与分の地方交付税は減額となる。

また、国は地方の人件費削減努力を反映するため「地域の元気づくり推進費」を新たに地方交付税の算定に加えた。そのため、

町はこの間、ラスパイレス指数も大幅に低く、職員削減も大きく行ってきたので、人件費に係る地方交付税は大幅な増額が見込まれる。

玉川町長 町は、国と比較したラスパイレス指数が、かなり低い状態が続いており、給与削減については、近隣市町村の状況を考慮しながら検討する。



町営テニスコート

準要保護にも

差別のない援助を



議員 博敏 焯場

就学援助制度は、子どもの育ちを支える大事な制度である。

家庭の経済的理由によって、子どもたちが差別されたり、教育を受ける権利が損なわれてはならない。

町には就学援助の制度があるが、保護者が生活保護家庭に準ずる家庭の児童生

徒には、新たに追加されたクラブ活動費、PTA会費、学級会費の3項目は援助されていない。本来の就学援助の主旨が生きるよう措置すべきだが見解を伺う。

総合的に
検討

町田教育長 要綱に基づき、学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・医療費・学校給食費について援助を行っている。

クラブ活動費・PTA会費・学級会費は、町では現在のところ準要保護児童生徒に対する援助支給項目には含んでいない。

現段階では新たに費目の追加は考えていないが、町の財政状況や近隣自治体の動静も視野に入れ、総合的な視点で検討したい。

重度障害者
制度改善を

町には重度障害者の、医療費助成に関する条例があり喜ばれている。

しかし、医療費を一旦窓口で支払い、あとで役場に申請することにより、返還される償還払い方式は、障害を持った方には使いづらい制度であり、改善が求められている。

昨年6月の県議会で「窓口無料化を求める請願」が全会一致で可決した。償還払い方式から、窓口無料化へと制度改正が早期に進むよう、町も働きかけをすべきだと思いが取組みを伺う。

改善要望
していく

玉川町長 この医療費助成の現物給付化については、窓口で自己負担額がないため、過剰受診となり老人医療費が大幅に増加した過去の経験や、高齢化の進展に伴う今後の制度持続の観点から事業費増大に対する対策が必要であり、県としては実施が遅れていた。

しかし、昨年8月に県内市町村に現物給付化への調査が実施され、約50団体から現物給付化が望ましいとの結果がでた。

県はこの結果を踏まえ、現物給付化に向けてようやく市町村との協議を始める段階に至っている。

町としては制度改正が早期に進められるよう、県に対して要望していく。

町営住宅の
管理と
更新は

町営住宅の空き家管理を適切にしてほしいとの苦情がある。



町営大村住宅

雑草など刈り取りが必要な所があり、冬場は防火防犯対策上特に適正管理してほしい。

町には町営住宅基本計画があるが内容を見ると、大村住宅をのぞいて、全て廃止していく計画になっている。

長引く不況の中で、町営住宅の需要がまだあるのに、適切な更新計画も策定すべきだと思いが、見解を伺う。

更新を含め
新しい
方法も

小関都市環境課長 町営住

町としては、大村住宅に全てを集約し集中的に管理していく考えである。

今後は更新等を含め、新しい方法も考えていく。



東浪見小の登校風景

どうすすめる

有害鳥獣対策



藤乗一由議員

一宮町有害鳥獣対策協議会の設置で、鳥獣被害防止計画の実施にあたり次の点を伺う。

- ①被害状況
- ②農作物の被害、家屋等の物的被害、狂犬病など病虫害による人的被害に対し、協議会設置による啓蒙活動等の対策・対応
- ③駆除・処分の方法と対応、防止計画実施上の問題点
- ④周辺市町村との連携

地域全体で取り組む

小関都市環境課長 調査では98件の被害報告があり、トウモロコシや梨、タケノコ等23品目の農作物と、家

屋への侵入被害が確認された。加害動物はハクビシンやイノシシ、アライグマ、ドバト等14種類の野生動物である。

具体的対策は、有害鳥獣の啓蒙を行い、住民の意識改革を図り、以下の順に対応する。

残飯等の生ゴミと農作物残さの適正処理を推進し、野生動物の餌場をなくす。空き地の雑草除去や耕作放棄地等の解消に努め、隠れ場所をなくす。

協議会会員を捕獲等の担い手とし、有害鳥獣の防護柵の設置やワナ免許の取得をすすめ、箱ワナで捕獲し、適正な処理を行う。

また、猟友会と契約し、銃器によるイノシシ等の捕獲処理も計画している。

問題点は、動物による被害への危機感がない住民に理解を得ること、協議会の会員でもある捕獲等の担い手の確保の点、捕獲した有害鳥獣の焼却処理時の点である。

鳥獣害対策の基本的考え方



農林水産省の資料より

【議長・議員が出席した主な行事】

- 1月
- 8日 ○ 議会報編集委員会
 - 12日 ○ 第4支団表彰伝達式
 - 広域消防出初式・祝賀会
 - 第4支団消防出初式・祝賀会
 - 13日 ○ 成人式記念式典
 - 17日 ○ 一宮町例月出納検査
 - 長生病院運営委員会
 - 22日 ○ 議員全体説明会
 - 23日 ○ 大網白里市市制施行記念式典
 - 広域保健センター運営委員会
 - 24日 ○ 山梨県笛吹市訪問
 - 25日 ○ 一宮町文化同好連絡協議会新春の集い
 - 26日 ○ 一宮町アスリートオブザイヤー2012
 - 29日 ○ 第1回臨時議会

- 2月
- 3日 ○ 玉前神社節分追儺式
 - 7日 ○ 広域議会運営委員会
 - 広域議会定例会
 - 公立長生病院に係る調査研究会
 - 12日 ○ 広域議会常任委員会
 - 15日 ○ 一宮町例月出納検査
 - 19日 ○ 千葉県町村議会議長会定例会・政務研究会
 - 長生郡町村議会議長会臨時会
 - 22日 ○ 九十九里地域水道企業団理事会
 - 26日 ○ 広域議会常任委員会
 - 広域議会定例議会
 - 27日 ○ 議会運営委員会
 - 議員全体会議
 - 議会報編集委員会

- 3月
- 4日 ○ 議会定例会（開会）
 - 5日 ○ 総務文教・経済・厚生常任委員会
 - 7日 ○ 一宮商業高校卒業式
 - 8日 ○ 議会報編集委員会
 - 11日 ○ 議会定例会（閉会）
 - 12日 ○ 一宮中学校卒業式
 - 14日 ○ 一宮小学校卒業式
 - 15日 ○ 東浪見小学校卒業式
 - 18日 ○ 長生グリーンライン国会要望活動
 - 23日 ○ 愛光保育園卒園式
 - 25日 ○ 一宮・原・東浪見保育所卒園式
 - 26日 ○ 一宮町例月出納検査
 - 27日 ○ 長生農協通常総代会
 - 28日 ○ 議会報編集委員会

議会の主な動き（平成25年1月～3月）

3月定例議会・一般質問・議会の主な動き

臨時議会

新庁舎建設工事

請負業者契約

平成25年第1回臨時議会を1月29日に開催し、契約1件が原案どおり可決しました。

契約工事名

一宮町役場新庁舎建設工事

契約金額

6億1千9百92万円

請負業者

千葉市中央区弁天一丁目15番1号
㈱フジタ東関東支店

支店長 小林 卓司

あなたも議会を

傍聴しませんか！

今回は6月18日(火)

の予定です

一宮町役場新庁舎イメージ図 ※下図はイメージであり、今後の設計協議などで変更されることもあります。



編集後記

袴田 忍記

街路樹の木々が花を咲かせ、町も人も活気ある季節を迎えました。

3月4日に開会した25年第1回定例議会は玉川町長の施政方針で始まり、議会議員による一般質問7名、平成25年度の一般会計及び特別会計予算案を始め、条例の制定及び一部改正、町道路線の認定・廃止・変更と、同意案を含めた33案件が提出され慎重審議されました。

また各常任委員会も開催され各課との25年度予算審議も行われたことを報告いたします。

今年度は、新庁舎の建設（26年3月完成を目指す）が大きな事業の柱となっていますが、新規事業として市民農園の開園や中学生の海外派遣、有害鳥獣対策に関する事など町民の方々が関心ある事業の取組みを進めていきます。

私達議員一同、開かれた議会を目指し一層の努力を重ね、読んでいただける紙面づくりを心がけて参ります。